

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カラフル・ピース 保育所等訪問支援(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15名	(回答数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達に関する知識とスキルを身につけた、経験豊富な職員が訪問に出向いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの集団の中での行動や現状(一斉指示の理解、生活スキル、他児との関わり方など)と、通園先クラスの状態(クラスの人数、男女比、先生の数、加配保育士の有無、クラス全体の子どもの傾向など)を観察し、現時点で保育者と一緒に考える事の出来る支援内容を提案出来るように意識している ・通園先の職員に、事業所での様子や支援内容を具体的に分かりやすく伝え、事業所での取り組みを通園先でも取り入れてもらえるアドバイスが出来るよう意識している 	・出来るだけ多職種で連携して訪問し、多方面から子どもを理解できるようにする
2	子どものことを良く理解するよう努め、保育所等訪問支援計画を作成している。また、それに沿った支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・療育時に子どもの得意なことや好きなことを理解し、子どもの現在の発達段階を理解出来るようアセスメントツールを使用してアセスメントしている ・ご家庭での様子を保護者と共有している ・集団での子どものスキル、現在芽生え始めている力や課題を通園先職員と共有している 	・子どもの通園先職員に、事業所での親子通所の様子を見学に来てもらうように働きかける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所訪問での様子を共有する際、プライバシーへの配慮が充分ではなく改善の余地がある	・他のお子さんとの併行利用や小集団での療育の場合、他のご家庭の保護者が同室におられる為、話の内容が聞こえることがある	・保育所訪問でのお子さんの様子を共有する際に、別室での面接のご希望を確認するようにする
2			
3			